学校番号	３０８

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校 政治・経済」（第一学習社）						
副教材等	「テーマ別資料政治経済」東京法令出版						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１．授業では、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に２年次に学習した公共の内容をより深く、さらに理解することを目指します。
２．現代の政治・経済を中心とした諸問題について、教科書を中心に基本的な学習を行い、主体的な分析に考察を加え、周りの人と理解を深め、共同して問題に対処する素養を養います。
３．新聞などを教材として扱い、教科書の内容と連携させて時事問題、科目の内容の理解をタイムリーなニュースを活用することにより理解を深め、NIE を実践します。
４．近い将来、政治に関わることをしっかりと意識してもらい、模擬裁判を行うなどして公民としての基礎を培います。

2　学習の到達目標

・政治・経済関係の資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べてまとめる技能を身に付ける。
・現実社会の諸課題の解決に向けて、事実から多面的・多角的に考察し公正に判断する力や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論して合意形成する力を養う。
・よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする良識ある公民として必要な能力と態度を育て、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・単元におけるそれぞれの資料を適切に読み取ることができる。 ・単元の内容を理解している。	・単元を多面的、多角的、協同的に考えて適切に表現している。	・単元を意欲的に理解、解決しようとしている。 ・単元の理解を通して自覚を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに小テスト、定期考査、プリント、活動の様子の観察、レポート、口頭発表などを評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1節　日本国憲法と現代政治のあり方	・政治と法の意義と機能 ・法の支配と立憲主義 ・基本的人権の保障と日本国憲法 ・現代社会における新しい人権 ・権利と義務との関係 ・議会制民主主義と世界の政治体制 ・国会の組織と立法 ・内閣の機構と行政 ・裁判所の機能と司法制度	a：政治や政治権力の意味と役割、裁判所と内閣と国会の関係とその課題、憲法及び法律の成立について、理解している。 b:法の支配や立憲主義確率の重要性、権利と義務との関係、個人の尊重や人権、及び国民の司法参加のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：「日本国憲法と現代政治のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト、定期考査等	小テスト、定期考査、プリント等	活動観察、レポート、口頭発表等
	第2節　望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方	・地方自治制度と住民の権利 ・政党政治と選挙	a:地方自治の意味とその制度及び政党の意義役割について、理解している。 b:地方自治における住民の権利と住民運動の意義、日本の政党政治や選挙の課題について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:「望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト、定期考査等	小テスト、定期考査、プリント等	活動観察、レポート、口頭発表等
2学期	第3節　市場経済の機能と限界 第4節　持続可能な財政および租税のあり方	・経済活動と市場 ・経済主体と経済循環 ・国民経済の大きさと経済成長 ・物価と景気変動 ・市場の失敗と公害・消費者問題	a:経済の役割と特質、経済成長の要因や、物価と景気変動に対する政府の施策、公害と消費者問題に対する施策について理解している。 b：価格の決まり方や、企業の社会的責任のあり方、自立した消費者としての行動について、具体的な例を取り上げて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:「市場経済の機能と限界」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト、定期考査等	小テスト、定期考査、プリント等	活動観察、レポート、口頭発表等

	第４節　持続可能な財政および租税のあり方 第５節　金融を通した経済活動の活性化	・財政のしくみと租税の意義 ・金融のしくみとはたらき	a:財政の機能としくみ、租税の意義、金融のはたらきと金融機関の役割、金融政策について理解している。 b:財政における国と地方の役割分担、現在の金融をめぐる動向とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:「持続可能な財政および租税のあり方」、「金融を通した経済活動の活性化」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト、定期考査等	小テスト、定期考査、プリント等	活動観察、レポート、口頭発表等
	第６節　経済活動と福祉の向上	・日本経済の変化と中小企業・農業問題 ・労使関係と労働問題 ・社会保障制度と福祉のあり方	a:日本経済における産業構造の変化とその現状、労働三法、社会保障制度について、理解している。 b:日本の中小企業や農業経営者が直面している課題、日本の労働問題、社会保障制度について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:「経済活動と福祉の向上」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト、定期考査等	小テスト、定期考査、プリント等	活動観察、レポート、口頭発表等
３学期	第１節　国際法の果たす役割	・国際社会の変遷 ・国際法の意義 ・国際機構の役割 ・国際紛争と軍縮への取り組み	a:21 世紀以降の国際社会の動向について、理解している。 b:国際社会の多極化や国際協力について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:「国際法の果たす役割」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト、定期考査等	小テスト、定期考査、プリント等	活動観察、レポート、口頭発表等

	第2節　国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割	・日本の安全保障と国際貢献	a:平和主義の理念と日本の防衛政策の関連について、理解している。 b:国際社会において日本が果たすべき役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c:国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト、定期考査等	小テスト、定期考査、プリント等	活動観察、レポート、口頭発表等
	3節　相互依存関係が深まる国際経済の特質	・貿易の現状と意義 ・国民経済と国際収支 ・為替相場の変動 ・国際協調と国際経済機関の役割	a:比較優位の考え方や国際分業の利点、国民経済と国際収支、為替変動について、理解している。 b:世界と日本の貿易の現状と動向、日本の対外経済取引、国際経済機関の役割について、考察し、表現している。 c:「相互依存関係が深まる国際経済の特質」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト、定期考査等	小テスト、定期考査、プリント等	活動観察、レポート、口頭発表等
	第4節　国際経済において求められる日本の役割	・国際経済における日本の地位と国際協力	a:国際経済における日本の地位について、理解している。 b:国際経済の安定と成長のために果たすべき日本の役割について、考察、構想し、表現している。 c:「国際経済において求められる日本の役割」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト、定期考査等	小テスト、定期考査、プリント等	活動観察、レポート、口頭発表等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度